



かながわDMO 取り組みの進捗について

2023年11月20日

公益社団法人 神奈川県観光協会

会長 望月 淳

1. 神奈川県観光協会の歴史

観光協会の歴史

- 終戦
- 第1回神奈川県知事選挙(内山岩太郎)
- 相模ダム完成

- 札幌オリンピック
- 横浜市営地下鉄
上大岡⇄
伊勢佐木長者町間開業



1946 神奈川県観光協会 設立

1947 社団法人の認可を受け、法人化

1972 神奈川県から駐車場用地を借用、林間駐車場の運営開始

2006 物産事業の移管を受け、アンテナショップの運営開始

2012 内閣総理大臣から公益認定を受け
「公益社団法人神奈川県観光協会」に移行

2018 神奈川県アンテナショップ
「かながわ屋」をそごう横浜店に移転

2022 観光地域づくり候補法人
(候補DMO)に登録

2023 神奈川県をマネジメントする
観光地域づくり法人(DMO)に登録

2. DMOとは何か

1. 定義（観光庁）

- 「Destination Management Organization」の略語であり、日本語では「観光地域づくり法人」と定義される。
- 広域連携（地方ブロック）/地域連携（都道府県）/地域（市区町村）の三種類のDMOがあり、それぞれでマネジメント範囲が異なる。

3. 位置付け

- 「観光地域づくり」の「司令塔（舵取り役）」である。
- 地域の民間事業者（農・漁、商工、宿泊、交通、文化、飲食、他）などの多様な関係者と連携を取り、また、主体的な参画を促していく。行政とは役割を分担して地域の観光振興を推進していく（例えば、専門的なマーケティング、コンテンツ開発・磨き上げはDMOが担当するなど）。

2. 機能

- DMOを中心に観光地域づくりを行うことについて、地域の多様な関係者との合意形成を図る。
- 観光に資するデータの継続的収集・分析、データに基づく戦略策定、PDCAサイクルの確立など。
- 観光資源磨き上げ、受入環境整備等の着地整備の取組推進。
- 各種観光関連事業と戦略の整合性・調整、プロモーション実施。

4. ミッション



- 地域と旅行者がメリットを享受する持続可能な観光地を実現。
- 災害等には来訪者への情報発信や安全・安心対策にも取り組む。

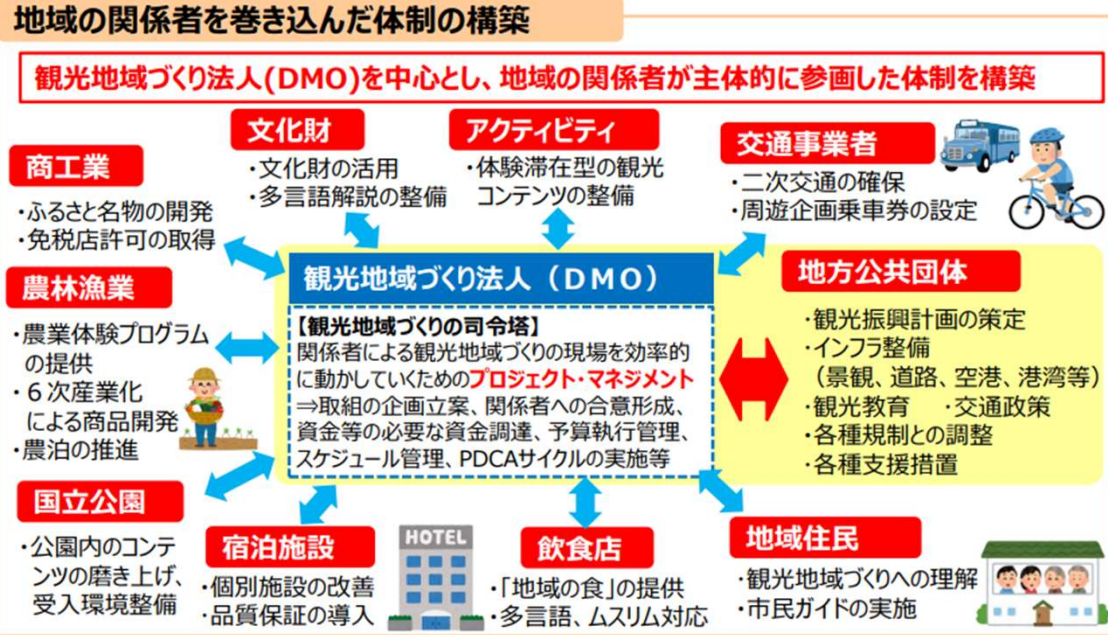
2. DMOとは何か

観光地域づくり法人(DMO)の形成・確立

観光地域づくり法人 (DMO)

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人

DMO : Destination Management/Marketing Organization



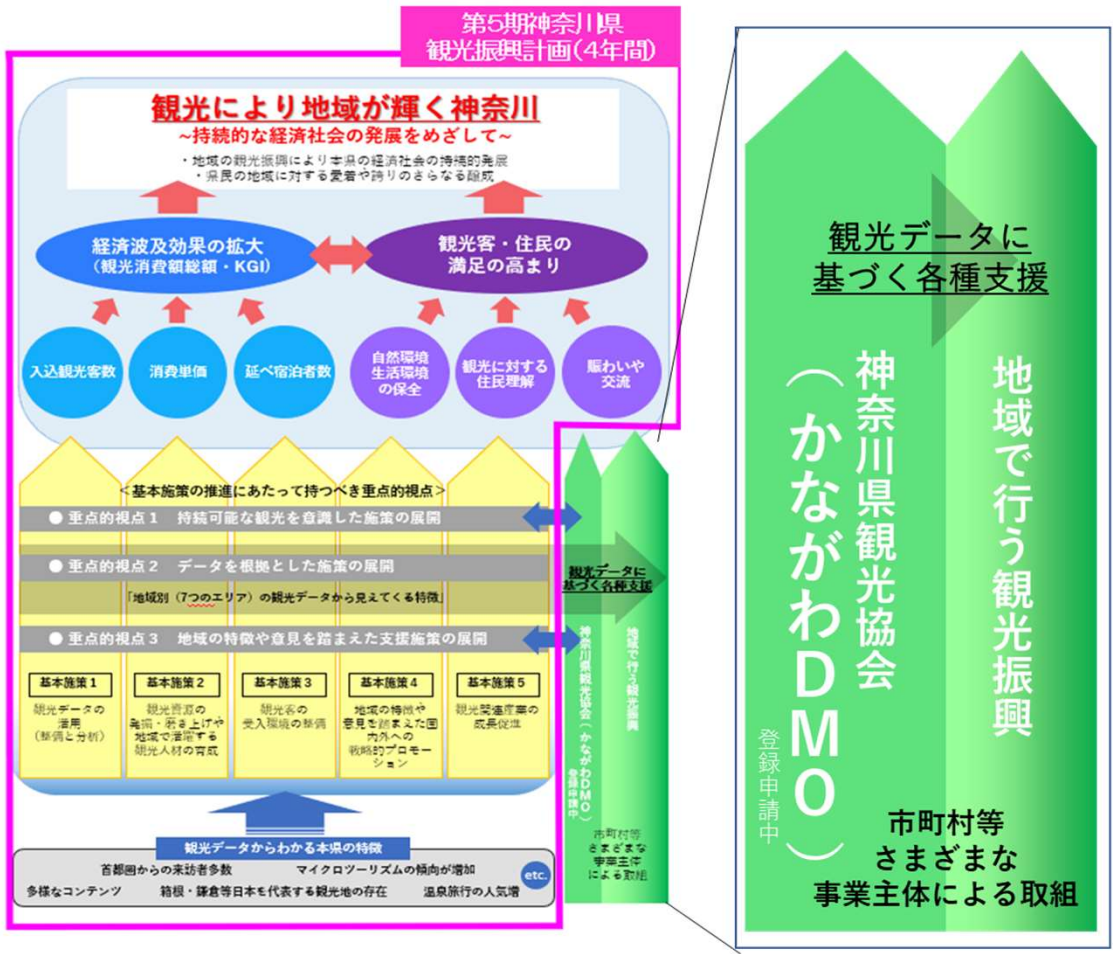
- ターゲティング等の戦略策定
- 観光コンテンツの造成
- 受入環境の整備

地方誘客・旅行消費拡大

- ✓ DMOは・・・多様な関係者と共に「観光地域づくり」を推進していく組織（舵取り役）
- ✓ データ分析などに基づいて戦略を推進する点も従来の観光組織との違い
- ✓ 全国の観光協会等は約1,700団体、R5年9月現在で登録DMOは282団体と限られた存在
- ✓ 「観光地域づくり」を推進するには、特に、事業者を含む地域関係者を巻き込んだ情報共有・合意形成が重要です

3. 神奈川県との連携強化の状況

第5期神奈川県観光振興計画での位置付け



《 具体的活動 》

- ▶ かながわDMO定例（2回/月）に神奈川県国際文化観光局観光課戦略グループの2名が定例参加。
- ▶ 第5期神奈川県観光振興計画をベースに、かながわDMOの将来価値議論など、根本的な議論に加わっている。
- ▶ 従来の理事会総会等はもちろん、事務局長会議・インバウンドファムトリップなど、今期新設したイベントにも参加し、アドバイスを頂いている。

名実共に県とかながわDMOが連携して戦略を推進

4. かながわDMOの理念・課題設定

かながわDMOのメインコンセプト・理念（何を目指す組織なのか）

地域の「稼ぐ力」を引き出す

神奈川県観光に必要な コンセプトの実現

- ここだけにしかない観光
- 時間が読める観光
- 気配りおもてなし
- 人に伝えたくなる観光

コロナ後に戻って来る
インバウンドへの対応

ネットワークの活用

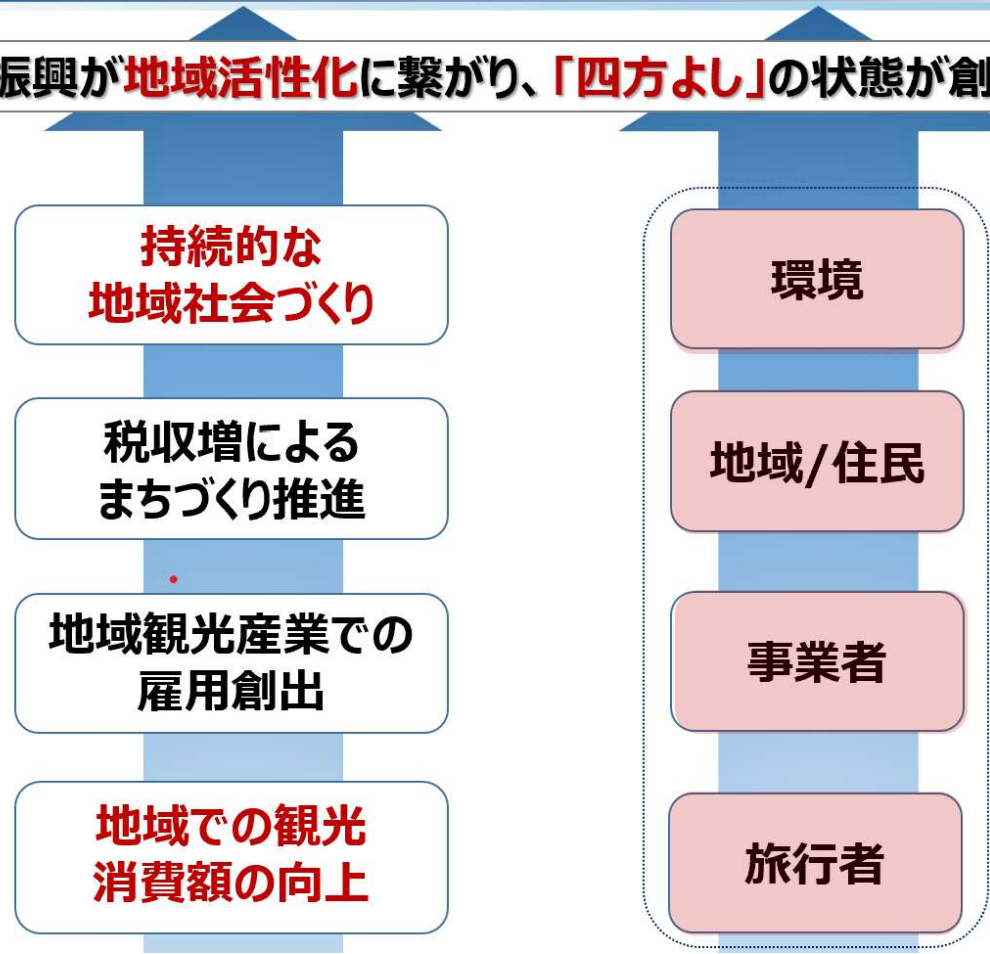
神奈川県観光消費の拡大

4. かながわDMOの理念・課題設定

「選ばれる神奈川」になるためには・・・？



観光振興が**地域活性化**に繋がり、「**四方よし**」の状態が創り出される

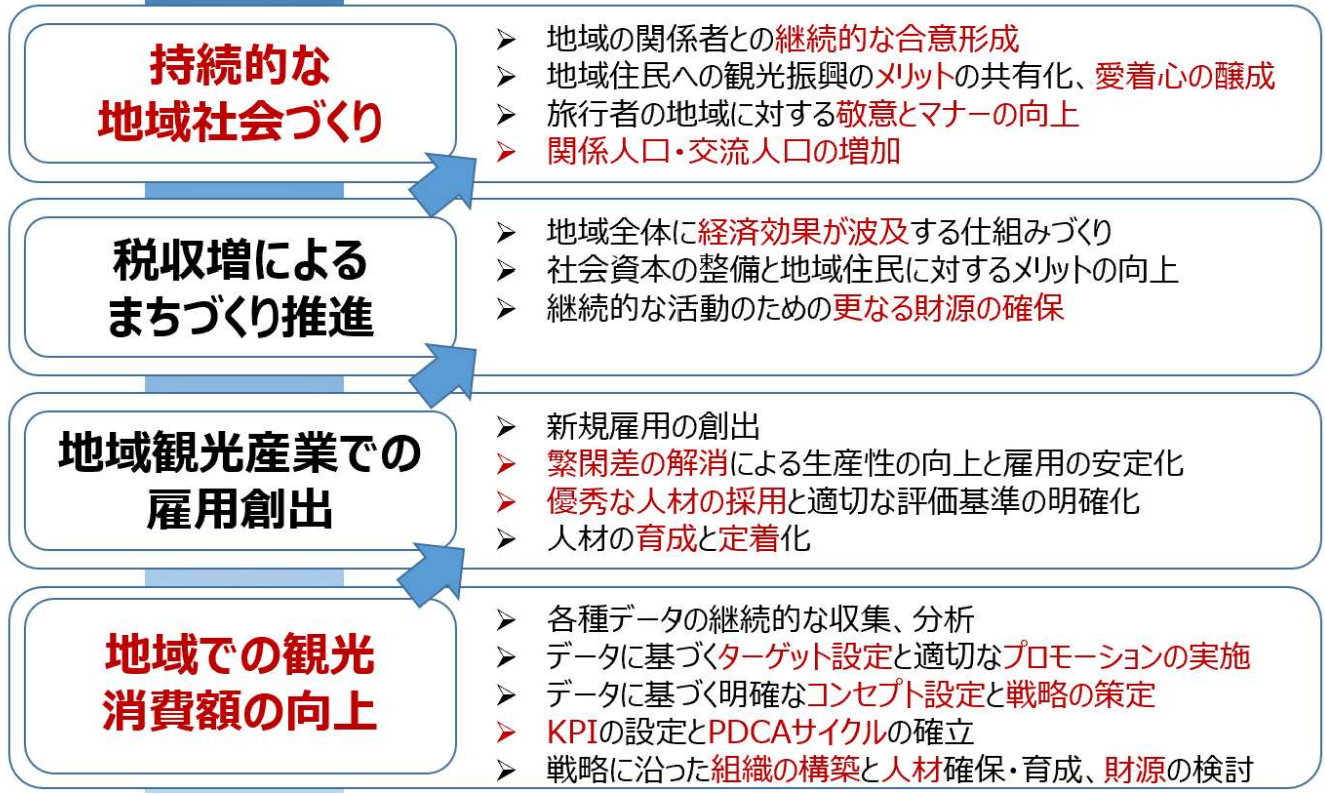


4. かながわDMOの理念・課題設定

「選ばれる神奈川」になるためには・・・？



観光振興が**地域活性化**に繋がり、「**四方よし**」の状態が創り出される



4. かながわDMOの理念・課題設定

具体的な数値目標

KGI (「Key Goal Indicator」重要目標達成指標)

観光消費額1.2兆円

＝神奈川県観光振興計画 (令和5年3月策定)

目標達成に向けた今後の打ち手、これまでに進めている取組み

I. 組織強化・環境整備

- ✓取組みを強力に推進するため、組織の進化
- ✓スピーディーに推進するための環境整備
(行政との関係構築・役割の明確化)

DMO法人登録

県観光振興策を一体で推進する役割

II. 課題設定・戦略・具体施策

- ✓観光消費拡大に向けた課題設定
- ✓課題解決のための戦略立案
- ✓具体的な施策の検討・実施

観光地経営の高度化サポート

旅行者の県内周遊性の向上

県内観光地SDGs化支援

観光人財の育成と斡旋

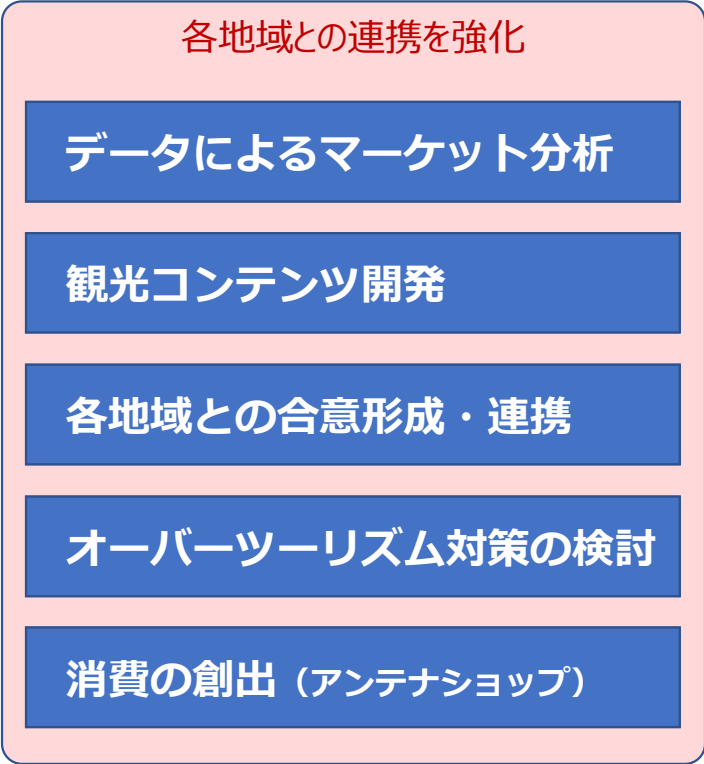
4. かながわDMOの理念・課題設定

課題設定・戦略・具体施策

観光地域づくり・観光地経営の課題の切り口

- ① 周辺市町村・県/事業者/住民との連携
- ② プロモーション・情報発信
- ③ マーケティング・コンテンツ磨き上げ
- ④ 観光政策と経済政策との連動性
- ⑤ 受入体制整備（ハード面/人材面）
- ⑥ 地域住民の生活への影響と共生

具体的な取組みに集約



関係各所との多岐に渡る議論

- DMOプロジェクトメンバー
神奈川県観光協会メンバー
- 行政 観光庁・神奈川県
- 中小企業診断協会

5. 観光DI調査から見える観光事業者の姿

《神奈川県中小企業診断協会 と連携し、観光DI調査プロジェクトを推進（神奈川県景況感調査）》

概要

- 県内の観光関連事業者を対象に観光の景況感を調査する。
- 景気判断の背景にあるマーケットトレンド（観光動向）を分析し、誘客等の気づきを各地域に横断的に展開する。
- 四半期毎で調査を実施、年4回を想定している。

目的・成果

- 従来は見えなかった観光事業者の現在の事業動向が把握し、事業者、行政などの関係各所へ共有する。
- 観光市場での課題の動静を把握し、情報共有、対策を検討する。



5. 観光DI調査から見える観光事業者の姿

◀ 神奈川県内の観光関連事業者の景況感（第2回神奈川県景況感調査より） ▶

図) 2023年7-9月(夏商戦)の景気

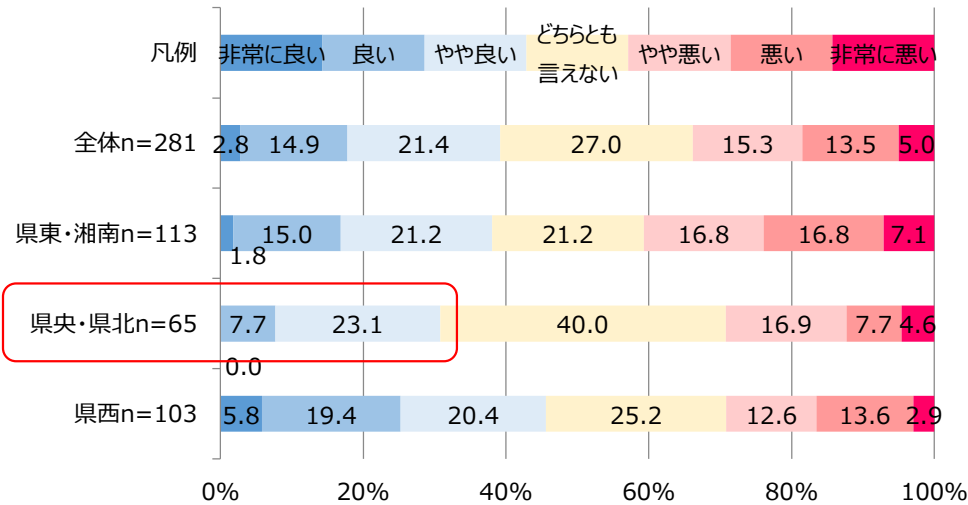
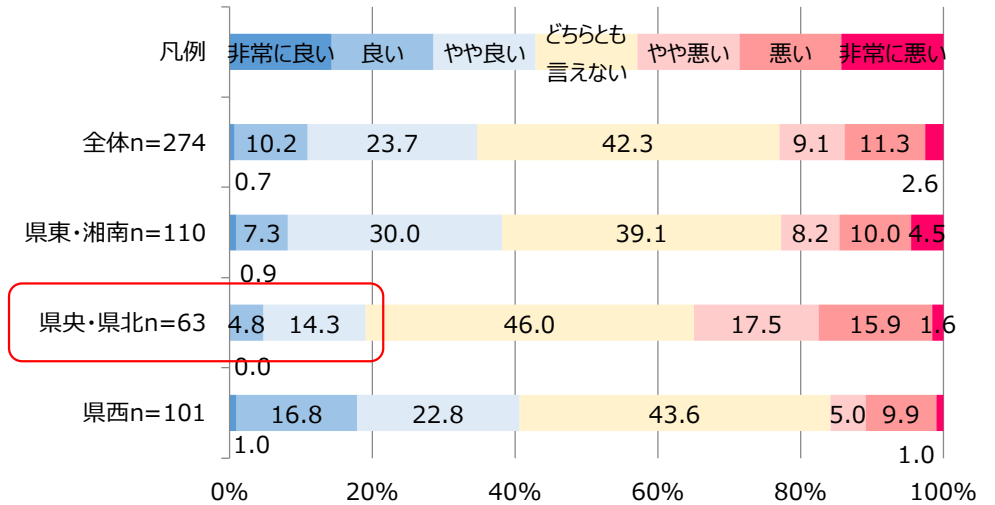


図) 来年2024年の景気見通し(全業種)



- 県央・県北の現在の景況感、2024年の見通しがやや厳しく、他2エリアと傾向が異なる。
- コロナ禍からのリベンジ消費の継続、インバウンド再開の追い風によってマーケットの回復が更に進むとのポジティブな見通しがある一方で、材料費や光熱費の高騰や人件費の高騰、物価高による消費抑制が引き続き業績のブレーキとなり、2024年は更にそれらが加速すると言った懸念を持つ事業者も確認できる。

5. 観光DI調査から見える観光事業者の姿

《神奈川県内でのオーバーツーリズムの状況（第2回神奈川県景況感調査より）》

図) 営業地域でのオーバーツーリズムの発生状況

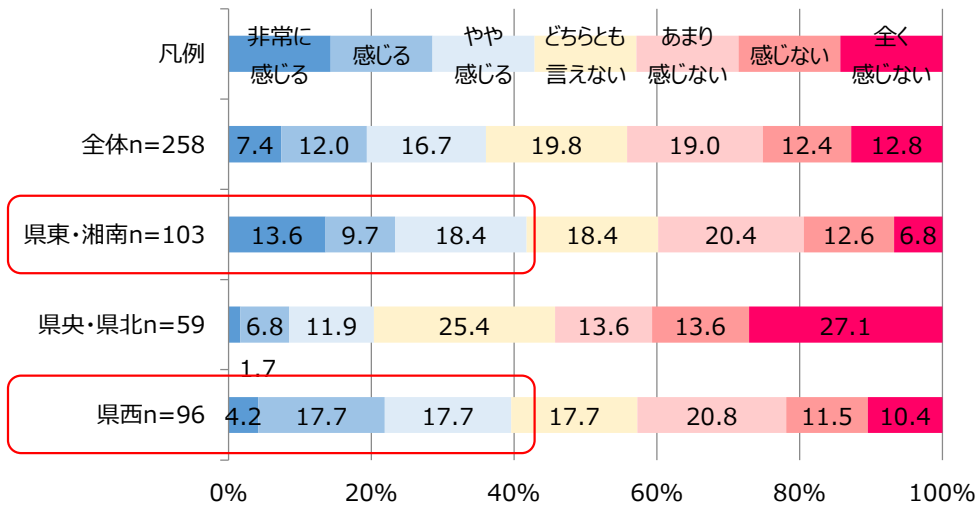
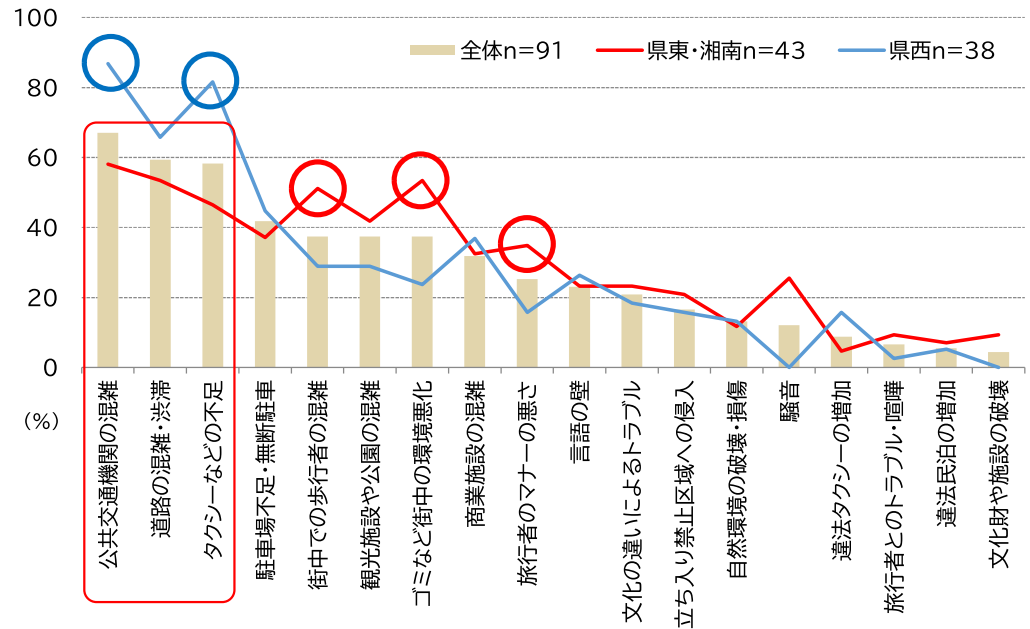


図) オーバーツーリズムの状況



- 県東・湘南、県西ではオーバーツーリズムの発生が確認できるが、現時点では認識が割れていることが分かる。
- 公共交通機関の混雑、道路渋滞、民間交通の不足がオーバーツーリズムのメインテーマ。
- 県西では交通の問題がより高く、県東・湘南では街中の歩行者の混雑、観光施設や公園などの混雑、ゴミなど街中の環境悪化、旅行者のマナーの悪さが問題に。

6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き

「いつ」「どこに（来訪スポット）」「どういった属性（性別・年代）の人」が、「どこから（居住地）」「どこへ」来訪したのか可視化、分析による課題設定および達成したい効果の検証を伴走します

自治体観光客分析に特化した
人流モニタリングツール

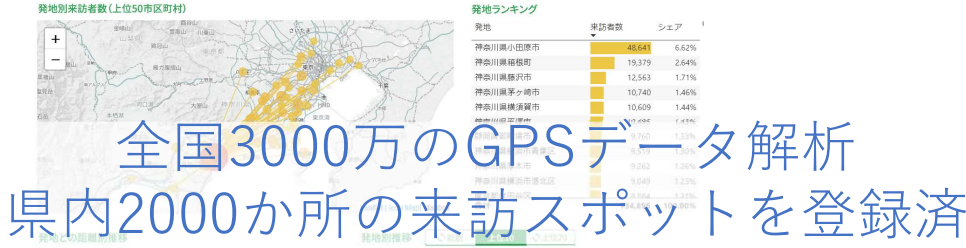


かながわDMOメンバーによる分析
OR
利用アカウント付与により
各観光協会が自ら分析



- ・課題設定
- ・効果検証

打ち手を実行、効果検証



6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き（どこから）

発地分析

▼ 来訪地フィルター

来訪地区分

スポット別

都道府県 > 市区町村

神奈川県 (都道府県) + 神奈川県小田...

ジャンル

すべて

来訪地

小田原城址公園

小田原城址公園に

▼ 発地フィルター

都道府県 > 市区町村

複数選択

神奈川県以外から

▼ 時系列フィルター

範囲 相対

最近 1 年

2022/07/07 - 2023/07/06

曜日 平日/休日

すべて 複数選択

最近1年間の土休日で

発地市区町村別 発地都道府県別

発地別来訪者数

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	90,474	31.75%
埼玉県	41,953	14.72%
静岡県	38,297	13.44%
千葉県	27,841	9.77%
愛知県	15,044	5.28%
茨城県	8,000	2.81%
大阪府	7,136	2.50%
群馬県	5,668	1.99%
栃木県	5,072	1.78%
山梨県	3,924	1.38%
兵庫県	3,845	1.35%
合計	284,960	100.00%

どここの都道府県からの来訪者が多いか？

発地別推移

総数 上位10 上位20

6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き（どんな属性が）

属性分析

来訪地フィルター

来訪地区分

スポット別

都道府県 > 市区町村

神奈川県 (都道府県) + 神奈川県鎌倉...

スポット

すべて

ジャンル

神社・寺院・教会

選択属性の来訪者数・構成比 選択属性構成比 = 選択した属性(性・年齢)の来訪者数 ÷ 全来訪者数

鎌倉市の神社・寺院に

20代

来訪地	選択属性来訪者数	選択属性構成比
鶴岡八幡宮	256,394	11.3%
鎌倉大仏殿高德院	69,464	11.4%
長谷寺 (神奈川県鎌倉市)	44,608	8.4%
円覚寺	34,638	9.0%
建長寺	30,881	9.1%
銭洗弁財天 宇賀福神社	23,324	10.1%
明月院	16,832	13.2%
報国寺 (神奈川県鎌倉市)	13,149	13.2%
鎌倉宮	10,683	7.2%
浄智寺	6,805	9.7%
葛原岡神社	6,358	9.6%
佐助稲荷神社	3,279	7.3%
妙本寺 (神奈川県鎌倉市)	2,485	11.6%

属性フィルター

性 年齢

すべて 20代

時系列フィルター 範囲 相対

期間

最近 1 年 (隔)

2022/01/01 - 2022/12/31

曜日 平日/休日

すべて

属性別構成推移 構成比 人数

性年齢 ●女20 ●男20

最近1年間の土休日で

来訪地別・属性別構成 構成比 人数

性年齢 ●女20 ●男20

来訪地	女20	男20
鶴岡八幡宮	60.9%	39.1%
鎌倉大仏殿高德院	54.1%	45.9%
長谷寺 (神奈川県鎌倉市)	61.6%	38.4%
円覚寺	51.7%	48.3%
建長寺	54.6%	45.4%
銭洗弁財天 宇賀福神社	55.0%	45.0%
明月院	56.0%	44.0%
報国寺 (神奈川県鎌倉市)	56.5%	43.5%
鎌倉宮	64.9%	35.1%
浄智寺	56.4%	43.6%
葛原岡神社	53.1%	46.9%

20代が来訪する
神社・寺院は？

16

6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き（どこへ向かう）

スポット間周遊

▼ 来訪地(包含)フィルター

都道府県 > 市区町村

神奈川県(都道府県) + 神奈川県横浜... ▼

ジャンル

すべて ▼

スポット

関内駅 ▼

▼ 周遊先フィルター

都道府県 > 市区町村

神奈川県(都道府県) + 神奈川県横浜... ▼

スポット

すべて ▼

▼ 時系列フィルター

範囲 相対

期間

2023/06/05 2023/07/02

曜日 平日/休日

すべて ▼ すべて ▼

スポット間周遊者数(上位30経路)

横浜市の関内駅に来訪

スポット間周遊者数・シェア

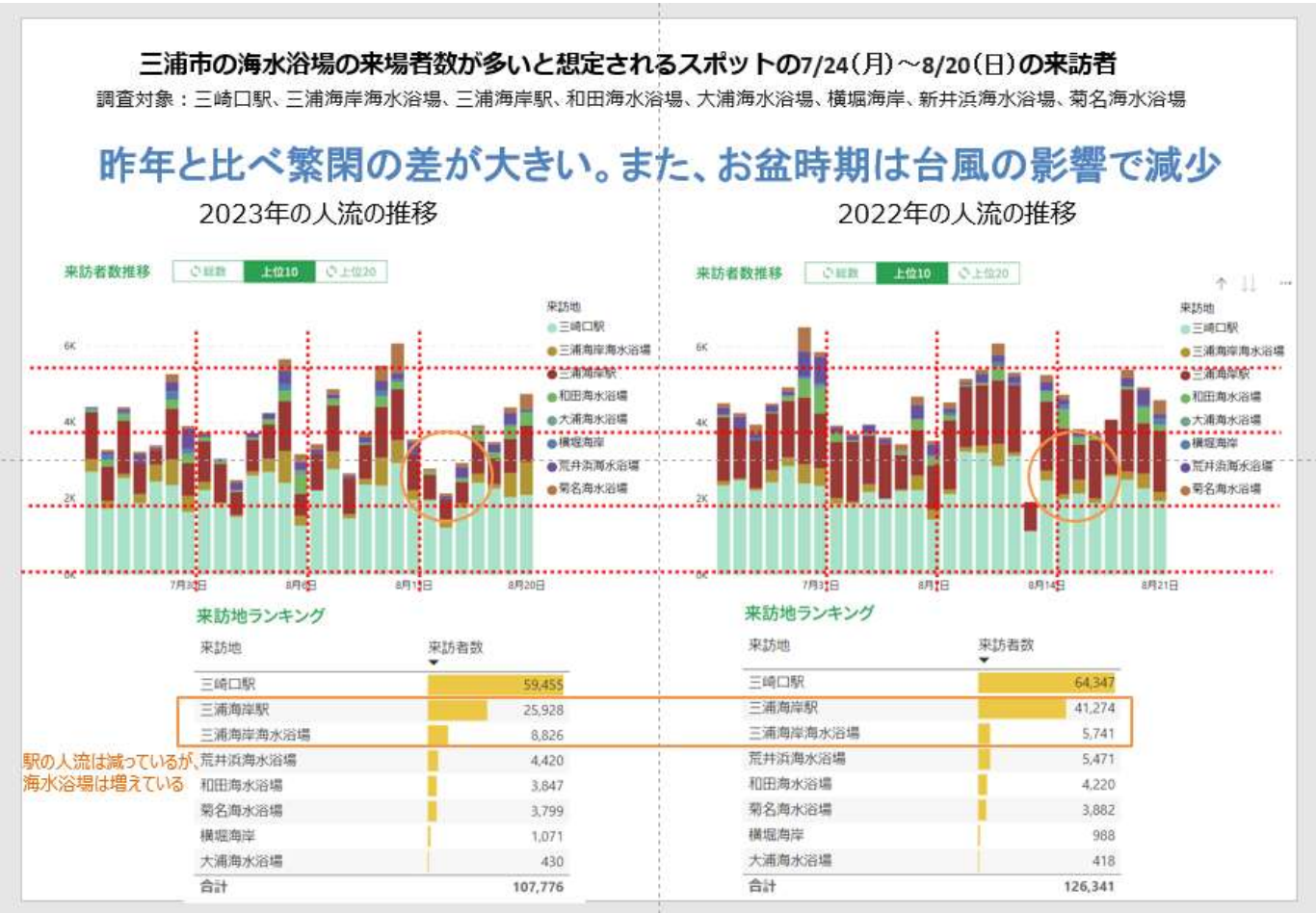
周遊パターン	周遊者数	シェア
横浜公園 ⇄ 関内駅	13,426	44.76%
桜木町駅 ⇄ 関内駅	2,715	9.05%
大通り公園 ⇄ 関内駅	1,888	6.29%
石川町駅 ⇄ 関内駅	1,755	5.85%
ヒューリックみなとみらい ⇄ 関内駅	1,197	3.99%
関内ホール ⇄ 関内駅	1,153	3.84%
神奈川県民ホール ⇄ 関内駅	606	2.02%
山下公園 ⇄ 関内駅	460	1.53%
ダイワロイネットホテル横浜関内 ⇄ 関内駅	433	1.44%
横浜港大さん橋国際客船ターミナル ⇄ 関内駅	391	1.30%
東横1NN横浜スタジアム前1 ⇄ 関内駅	365	1.22%
横浜市技能文化会館 ⇄ 関内駅	363	1.21%
レンブラントスタイル横浜関内 ⇄ 関内駅	362	1.21%
横浜第2合同庁舎【旧生糸検査所】 ⇄ 関内駅	336	1.12%
コンフォートホテル横浜関内 ⇄ 関内駅	296	0.99%
赤レンガパーク ⇄ 関内駅	295	0.98%
横浜赤レンガ倉庫 ⇄ 関内駅	268	0.89%
リッチモンドホテル横浜馬車道 ⇄ 関内駅	258	0.86%
東横1NN横浜みなとみらい線日本大通り駅前...	225	0.75%
神奈川県立歴史博物館 ⇄ 関内駅	193	0.64%
横浜武道館 ⇄ 関内駅	187	0.62%
象の鼻パーク ⇄ 関内駅	184	0.61%
よいどれ伯爵 ⇄ 関内駅	178	0.59%
JR桜木町駅前広場 ⇄ 関内駅	175	0.58%
神奈川県立芸術劇場 ⇄ 関内駅	171	0.57%
スーパーホテル横浜・関内 ⇄ 関内駅	158	0.53%
桜木町フシントンホテル ⇄ 関内駅	137	0.46%
港の見える丘公園 ⇄ 関内駅	127	0.42%
東横1NN横浜スタジアム前2 ⇄ 関内駅	110	0.37%
合計	29,993	100.00%

スポット間周遊者数推移

横浜市中区を周遊

関内駅に滞在した来訪者が近隣で周遊している場所はどこか？

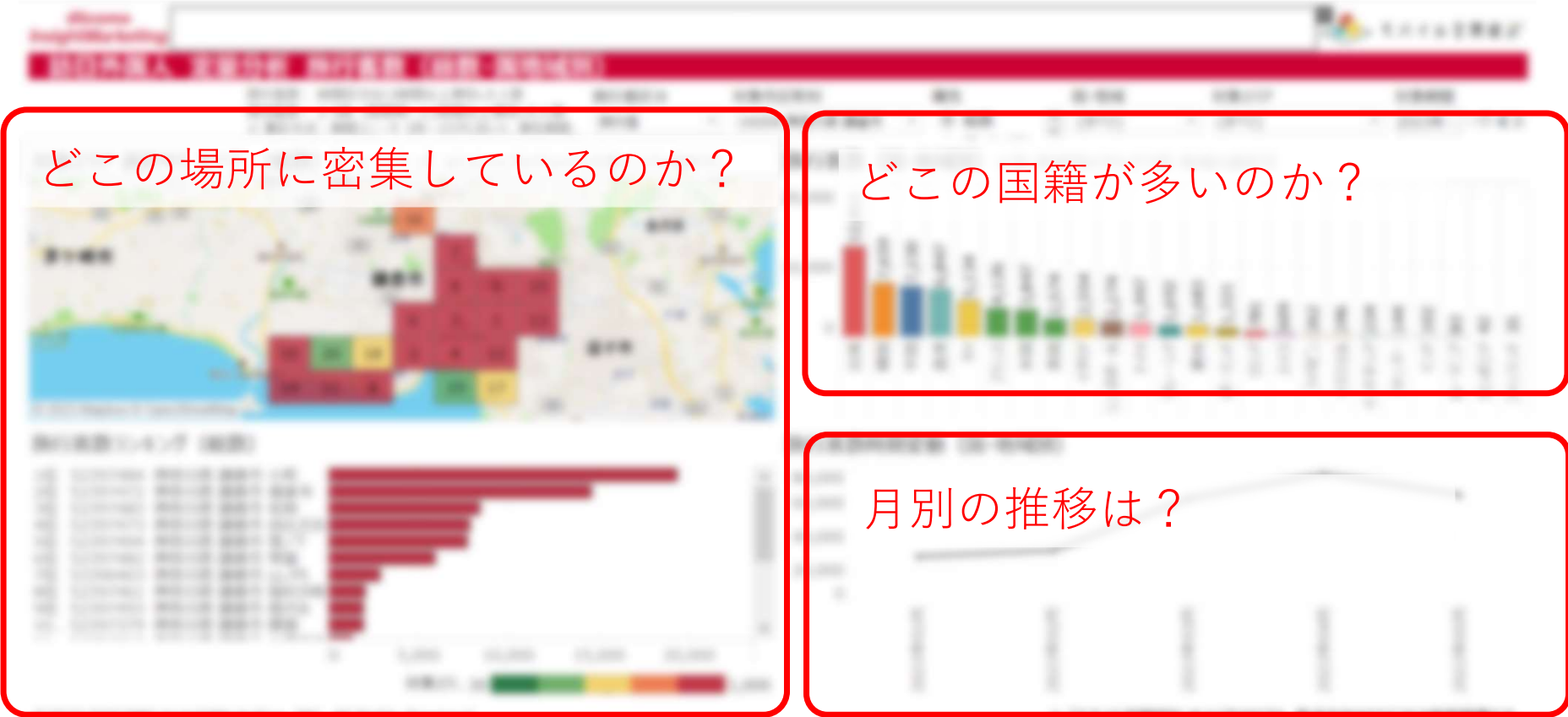
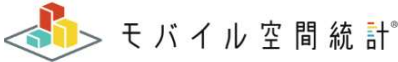
6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き（伴走による分析例）



- 猛暑の2023年、海水浴場の人流について対前年比較を実施。
- 実際には昨年よりも減少していた。
- 近隣のレンタルバイク利用や駐車場の状況から「昨年よりも減少している」との想定をデータによって立証

6. 人流分析/空間統計から見える観光客の動き（オーバーツーリズムへの対策）

訪日外国人のSIM等のGPSデータにより、来訪者の国籍・集中エリアなどを可視化
※現在は神奈川県観光協会内のみで利用可



7. インバウンド向けファムトリップ

インバウンド誘客に向け、地域と連携のうえ高付加価値商品の造成に取り組んでいます。

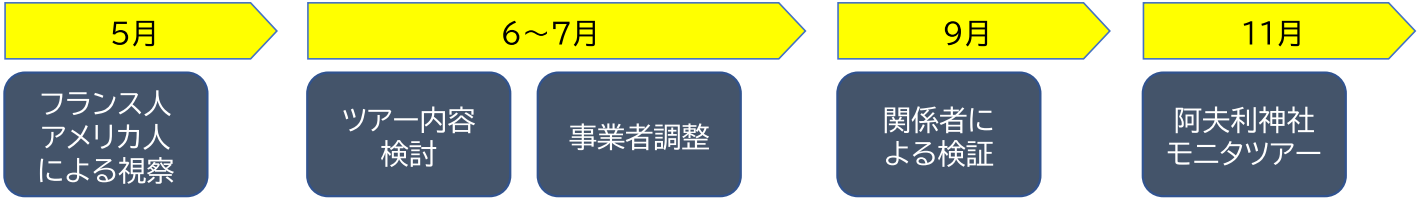
実施スキーム

概要

- 観光消費額が高い層や、パシフィコ横浜で開催されるMICE出席者を対象とした高付加価値商品の造成
- 造成された商品は、パシフィコ横浜と連携し商品化するほか、東京都内の高級ホテル、日本国内のランドオペレーター、海外現地旅行会社と共有し、商品販売を行う

2023年度の取組

- メルシャン工場見学ツアーの検証
- 大山阿夫利神社にて「石尊ナイトディナー」プログラムを検証



7. インバウンド向けファムトリップ

阿夫利神社プログラム内容



コンテンツ概要

阿夫利神社の隣りにあるお洒落なカフェで夕方からナイトライフを楽しみます。そのために特別にケーブルカーが営業します。カフェがバーになり、音楽も楽しめます。夕暮れと夜景を鑑賞しながらお酒を飲みませんか。

訪日外国人旅行者向けのセールスポイント

- 夜ですと阿夫利神社で普段見えない素晴らしい景色が表れます。
- 周りにだれもいないところでナイトライフを楽しめます。
- カフェのテラスは展望台になるので、夜景を鑑賞することができます。

基本情報

- 問い合わせ先: 神奈川県観光協会(かながわDMO)
- 営業時間: 9:00~17:00
- 電話番号: 045-681-0007
- メールアドレス: ●●●●@kanagawa-kankou.or.jp

対応可能な旅行形態	個人旅行・団体旅行(パッケージツアー)
ターゲットとする顧客層	オールターゲット
販売価格(税抜) ※一般公示価格	1人20,000円~ 要相談
価格に含まれるもの	食事・ケーブルカー
集合場所(代表住所)	〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山355
アクセス	大山ケーブルカー 阿夫利神社駅 (+徒歩5分)
予約可能期間	通年(月一回実施)
実施期間・実施回数	10回(8月・11月を除く)
所要時間・開始時間	約2時間(17:30~)
催行人数	1グループ〇人~〇人(最小/最大)
貸切対応	貸し切りのみ
言語対応	<input type="checkbox"/> 英 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 韓 <input type="checkbox"/> その他:

7. インバウンド向けファムトリップ

モニタツアー内容(11月6日・7日)

タイトル：阿夫利神社ナイトディナープログラム ～境内のカフェ“石尊”を貸切！～

テーマ	: 阿夫利神社が運営するカフェで特別にバータイムを開催。さらに相模平野の夜景も楽しめる！
概要	: 1泊2日の阿夫利神社の景色と文化、宿坊を楽しむツアーである。2日目午前中はこま最中体験！

プランの狙い・ストーリー

- 神社の参拝方法、大山こまの歴史、和菓子作りなどを経験する上で、日本人でもなかなか体験出来る機会がない、阿夫利神社でのナイトディナーを楽しむ。相模平野の夜景を楽しみながら旅行者同士と宮司と関わる機会でもある。

スケジュール	場所	内容
11月6日(月)13:00	伊勢原市営 大山第二駐車場	集合・スケジュール説明
13:10-15:00	駐車場～参道～大山ケーブル駅	参道見学(伊勢原観光協会 市川様)
15:20-15:26	ケーブルカー乗車	
15:30-17:15	阿夫利神社	境内見学・説明(目黒様)
17:30-19:30	阿夫利神社内 石尊	石尊ナイトディナー
19:45-20:00	大山ケーブルカー	ケーブルカー乗車
宿泊者以外解散 ※宿泊者:旅行会社2名+アテンド1名 ※離団者:伊勢原駅行バス(20:40)		
20:30～翌日	古宮旅館	1泊朝食付き 1室1名利用
(2日目)8:00-8:30	古宮旅館	こま最中体験
8:30	解散	

7. インバウンド向けファムトリップ

参加者・実施の様子

カテゴリ	所属	部署・役職
旅行会社	(株)日本エクスプローラーズトラベル	代表取締役
	エクスペリサス(株)	BtoG事業部
	エクスペリサス(株)	BtoG事業部
メディア	日経新聞 横浜支社	記者
	神奈川新聞(11/16 記事掲載)	経済部
その他招請	コンシェルジュ	
	(株)横浜国際平和会議場	経営推進部 担当部長
	(株)横浜国際平和会議場	経営推進部 経営推進課 担当課長
	(株)横浜国際平和会議場	経営推進部 経営推進課
	日本コンベンションサービス株式会社	クリエイティブディレクター
	日本コンベンションサービス株式会社	
JTB	(株)JTB	ツーリズム事業本部 広域交流事業推進課長
	(株)JTB	神奈川西支店 営業課 GL
	(株)JTB	神奈川西支店 営業課
かながわDMO	公益社団法人神奈川県観光協会	会長
	公益社団法人神奈川県観光協会	
	公益社団法人神奈川県観光協会	アドバイザー
	公益社団法人神奈川県観光協会	アドバイザー
	一般財団法人 箱根町観光協会	専務理事
	東日本電信電話株式会社	神奈川事業部ビジネスイノベーション部
伊勢原観光協会	伊勢原市観光協会	事務局長
アテンド	(株)makes	マーケティング プランナー
	(株)makes	マーケティング ディレクター
	(株)makes	マーケティング ディレクター



8. 各観光協会との情報共有

【理事会】

年間4回実施
 主要観光協会と県内事業者が参加

【副会長会】

鎌倉、箱根、藤沢、伊勢原の各観光協会長が参加

【協議会等】

県外観光展協議会
 神奈川県共同観光キャンペーン
 地域の協議会（地域の観光協会）
 ※年間2～3回程度のイベントを実施。

【事務局長会議】

概ね、年に3回開催
 主要観光協会の事務局長などが参加
 ※今年度は7月31日（火）、11月13日（月）に実施



8. 各観光協会との情報共有

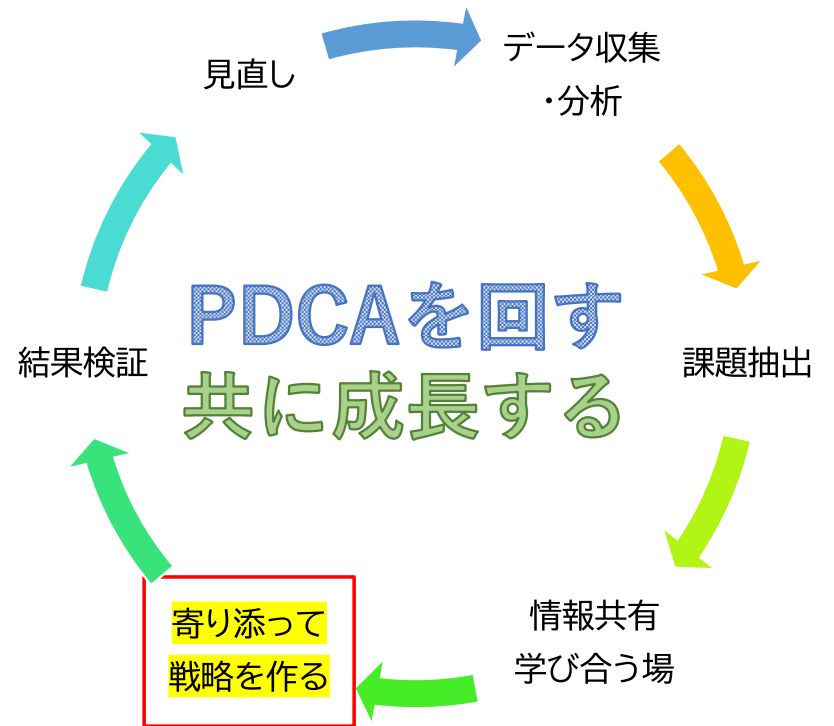
《各地域の成功事例などを横断的に収集し、県内での横連携を強化する》

✓ベストプラクティスを共有する「学び合う場」の新規設置。

概要

- 神奈川県は観光資源の宝庫。多種多様な事例が日々発生しています。
- 一方で発生する各種の課題には、横連携で対応していきたい。
- 情報共有・横展開により・・・
 - ①県内観光組織が共に協力して成長していく
 - ②他地域での成功事例を横展開して各地域と知見を共有
 - ③かながわDMOがハブになることで連携を円滑化する

各地域の観光協会と共に持続可能な観光地を実現する



8. 各観光協会との情報共有

令和5年 第2回事務局長会議 in  平塚市

15:00～ 開会の挨拶

15:10～ 各協会が抱える課題

- ・ 会員の維持・拡大・関係性構築
- ・ 財源確保の取組み

県内の知見を横展開

各地域での会員維持等、財源確保に関する取組みを**集約・共有**

15:40～ 人流分析の実施事例

- ・ 平塚：花火大会・湘南ひらつか七夕まつり
- ・ 三浦：海水浴場

人流分析の具体的な活用実績を共有

平塚・三浦での活用実績、結果の受止めなどを報告、各地域に**具体例**を発信

16:00～ 周遊に関するワークショップ

- ・ 人流分析を用いた来訪者属性の議論 (性年代・発地)
- ・ エリアで発生している周遊の議論
- ・ 周遊促進検討の進め方の議論

人流・周遊に関するワークショップ

データを基に議論して**体験する**、周遊の進め方についての**発想・アイデア**を収集

議論結果、不足データを補完してレポート

◆後日、各地域へフィードバック

◆第3回事務局長会議へつなぐ

17:30～ 懇親会

9. オーバーツーリズム対応

かながわDMOは神奈川県の「時間の読める観光」の実現を目指し、オーバーツーリズム対策にも積極的に取り組んでいきます！

■オーバーツーリズムに関する課題
オーバーツーリズムによる地域への影響や旅行者への影響に関する正確な実態を把握しきれていない。

■課題の原因
地域側との課題感の共有が必要であることと、解決手段に関する情報不足により有効な解決策を講じられていない。

■対策
地域側とオーバーツーリズムに関する意見交換を行い、具体的な解決に向けた取組に着手する。また併せて、国内外の他地域の事例を視察し、取組みに活かしていく。

3. 地域住民と協働した観光振興
- 地域の実情に応じた上記の対策を促進すべく、住民を含めた地域の関係者による協議に基づく計画策定・取組実施への包括的な支援を全国約20地域で実施し先駆モデルを創出。他地域にも横展開。
 - 各地域における課題解決に係る相談窓口を観光庁に直ちに設置。各省庁が連携し支援する体制を整備。

○観光庁によるオーバーツーリズム対策パッケージ

オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ 令和5年10月18日 観光立国推進閣僚会議決定

○ 国内外の観光需要は急速に回復し多くの観光地が賑わいを取り戻しているが、都市部を中心とした一部地域への偏在傾向も見られ、観光客が集中する一部の地域や時間帯等によっては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況であり、適切な対応が必要。

○ 地方部への誘客をより一層強力に推進し、全国津々浦々あまねく観光客を呼び込んで行く。

○ 観光客の受け入れと住民の生活の両立を両立しつつ、持続可能な観光地づくりを実現するためには、地域自身があるべき姿をあり、地域の実情に応じた具体策を講じることが有効であり、真してこようとする取組に対し総合的な支援を行う。

1. 観光客の集中による過度の混雑やマナー違反への対応

1-1. 受入環境の整備・増強

観光客が集中する地域における交通手段や観光インフラの充実

＜観光客が集中する陸路バスから鉄道への分散・乗り換えを促進・支援（京都市等）＞

- 「手から観光」の実証導入（京都で今秋実施）、各地で導入を支援
- 予約購入や運賃支払の非キャッシュ・多言語化を支援（全国10地域→20地域以上）
- Maasや記号アプリ等の導入、サービス改善に対する支援（関西エリア等）
- 空港乗降人員の確保やスマートレーン導入等による生産性向上への支援（成田・羽田・関空・中部等）

＜輸送力の増強＞

- 長距離LRT車両、連節バス導入等の車両長大化（広島等）や、鉄道駅改良への支援（大阪・井田町駅等）
- 供給力の確保的回復、観光客向けの乗合タクシー導入、混雑乗り場におけるタクシーホーターの設置（東武東上線駅）等、タクシー不足に対応する緊急措置の実施

＜観光客が集中する地域の受入環境の改善＞

- 歩行空間の拡大や交通結節点の整備等によるまちづくりの支援（大阪・御堂筋周辺等）
- 道路・歩道整備、観光地での無電化加速化（低コスト工法・民間委託）やクラウド型発着場所増
- 国立公園を中心とした地域での歩行環境整備（中部山岳国立公園（松本付近）等）
- ICTを活用したスマートこま箱の導入支援（大阪・道頓堀ほか各地）
- 宿泊業の活用活動支援、機械化・DX化推進支援、外国人材の活用促進
- 各年度で個別に、Visit Japan Web等を活用した初訪客の民間事業者加入促進を強化

1-2. 需要の適切な管理

実情に応じた入場管理に資する需要に対応した滞在時間の促進等

＜入場や交通の管理・規制＞

- エコリズム推進法や自然公園法に基づく入場規制やガイド同伴の義務化（沖縄・西表島等）
- 富士山の遊正歩道入山規制、軽井沢山、今治温泉等について、今秋から協議を開始
- 観光施設・駐車場予約システムやパーク＆ライド駐車場整備等の支援（北海道英彦山ほか各地）
- 地域における協議を踏まえた交通規制の実施（青森・奥入瀬エリアで実証）や好事例等の共有

＜観光客の適切な誘導＞

- 観光客の誘導・案内を促進する観光案内板の設置（全国）
- 観光スポットへの巡回バス導入促進（京都府一宮水谷方面等）と巡回による運賃設定への規制緩和
- 混雑回避設定が可能となるよう、今秋中に制度の弾力的運用を行い、導入を促進

1-3. 需要の分散・平準化

訪れている時間帯・時期・場所への誘導・分散化

- 観光スポットや周辺エリアの混雑状況の可視化・リアルタイム情報の導入支援（茨城県・鎌倉市等）
- 混雑状況を踏まえた空いている観光ルート等の提案による誘導（今年度、札幌・秩父エリアで実証等）
- 文化財や美術館、博物館等を朝晩・夜間に体験する特別プログラムの実施（東京国立博物館等）
- 休日と平日のバランスの見直し等、観光需要の分散・平準化のための高速道路料金割引の見直し（全国）

1-4. マナー違反行為の防止・抑制

原マナーから風通しを推進し、蒸アリの取組・対策を促進

＜原マナーから風通しを推進＞

- 今年度中を目標に統一ガイドブックを策定。世界的な旅行ガイド本の組織等を通じ周知
- 今年度中を目標に、混雑の持ち方（行動指針）を策定
- 観光マナーガイドブック等の取組支援、多言語での情報提供（京都府・美瑛町等）

＜マナー違反の防止＞

- 「私所有文化財等への傍聴カメラ等の設置支援
- 観光客とのトラブルにつながる悪質なSNS投稿を減らすデジタル事業を今年度より開始
- 観光客の迷惑行為防止に関する取組を推進し、悪質な投稿を減らすデジタル事業を今年度より開始

2. 地方部への誘客の推進

地方部の観光地の魅力向上や受入環境整備を通じて、都市部を中心とした一部地域への偏在を防止し、観光客を呼び寄せる

＜地方部の観光地の魅力向上＞

- 11モリ地域エリアを盛り上げ、それを体感できるコンテンツや宿泊施設の充実等により滞在価値を向上させる。高付加価値な観光地づくりを促進
- ①東北海路：知事等手かずの太古路や舟の船旅のふれあいを実現するドローンチャーター造成等を支援
- ②松本・高山：中部山岳国立公園でのトレイルツアー造成や松本・高山の歴史文化を活かした施設改修を支援
- ③伊勢志摩：伊勢志摩を核とする参訪文化（国立公園）を活かした観光資源提供や高付加価値な施設改修等を支援
- ④せとうち：鳥飼町の自然景観、湖と切り離せぬ歴史や暮らしを活かしたカワ・ス観光の強化やアートとの融合等を支援
- ⑤鳥取：鳥取の古くからの山岳信仰を活性化し特別な体験や期間限定の取組等を自然、文化、食、スポーツ等の様々な分野で創出し、全世界に発信
- ⑥山形：山形の歴史文化や自然環境を核とした観光振興を推進し、高付加価値な観光地づくりを促進
- ⑦瀬戸内エリア：瀬戸内国際芸術祭の開催期間中しか開催できないアート作品の視察を含む特別巡回観覧を支援
- ⑧山形：山形の歴史文化や自然環境を核とした観光振興を推進し、高付加価値な観光地づくりを促進
- ⑨瀬戸内エリア：瀬戸内国際芸術祭の開催期間中しか開催できないアート作品の視察を含む特別巡回観覧を支援

＜全国各地で特別な体験や期間限定の取組等を自然、文化、食、スポーツ等の様々な分野で創出し、全世界に発信＞

- 高山エリア：飛騨の里合宿の特別な観光地づくりを促進
- 食文化や郷土産品などの高付加価値なコンテンツを支援
- 瀬戸内エリア：瀬戸内国際芸術祭の開催期間中しか開催できないアート作品の視察を含む特別巡回観覧を支援

＜中部山岳国立公園、やんばる国立公園など4国立公園における魅力向上とブランド化＞

- 宿泊施設の誘致や自然体験ツアーへの提供など、面的な魅力向上を実施するため、今年度、基本構想を策定

＜受入環境整備＞

- 交通機関の充実や自然環境の保護や施設整備等への支援（熊本ほか地方空港）
- クルーズ船の地方寄港や新たな地方間航空線増設等の促進（広島・徳島）
- マイナンバーカードを活用し、観光客へのデジタルイン付与等により地域間連携を促進する取組の実施（今年度、静岡県等実証）

3. 地域住民と協働した観光振興

地域の実情に応じた上記の対策を促進すべく、住民を含めた地域の関係者による協議に基づく計画策定・取組実施への包括的な支援を全国約20地域で実施し先駆モデルを創出。他地域にも横展開。

各地域における課題解決に係る相談窓口を観光庁に直ちに設置。各省庁が連携し支援する体制を整備。

観光庁による対策パッケージを活用しながら、地域の実情に合わせた対策を講じていきます

9. オーバーツーリズム対応

鎌倉市・藤沢市エリアにおける オーバーツーリズム未然防止・抑制に向けた協議会

■概要

- 国土交通省関東運輸局が事務局となり、鎌倉市・藤沢市エリアにおけるオーバーツーリズム未然防止・抑制に向けた施策・取組の検討・実施を行う。
- 令和5年11月6日に第1回を開催し、今後も継続して開催する予定。

■構成員

- 国土交通省関東運輸局
- 神奈川県、鎌倉市、藤沢市
- 江ノ島電鉄(株)、湘南モノレール(株)、京浜急行バス(株)
- (公社)神奈川県観光協会
- (公社)鎌倉市観光協会、(公社)藤沢市観光協会



令和5年10月31日
鎌倉市・藤沢市
関東運輸局

「鎌倉市・藤沢市エリアにおけるオーバーツーリズム未然防止・抑制に向けた協議会」(第1回)を開催します！

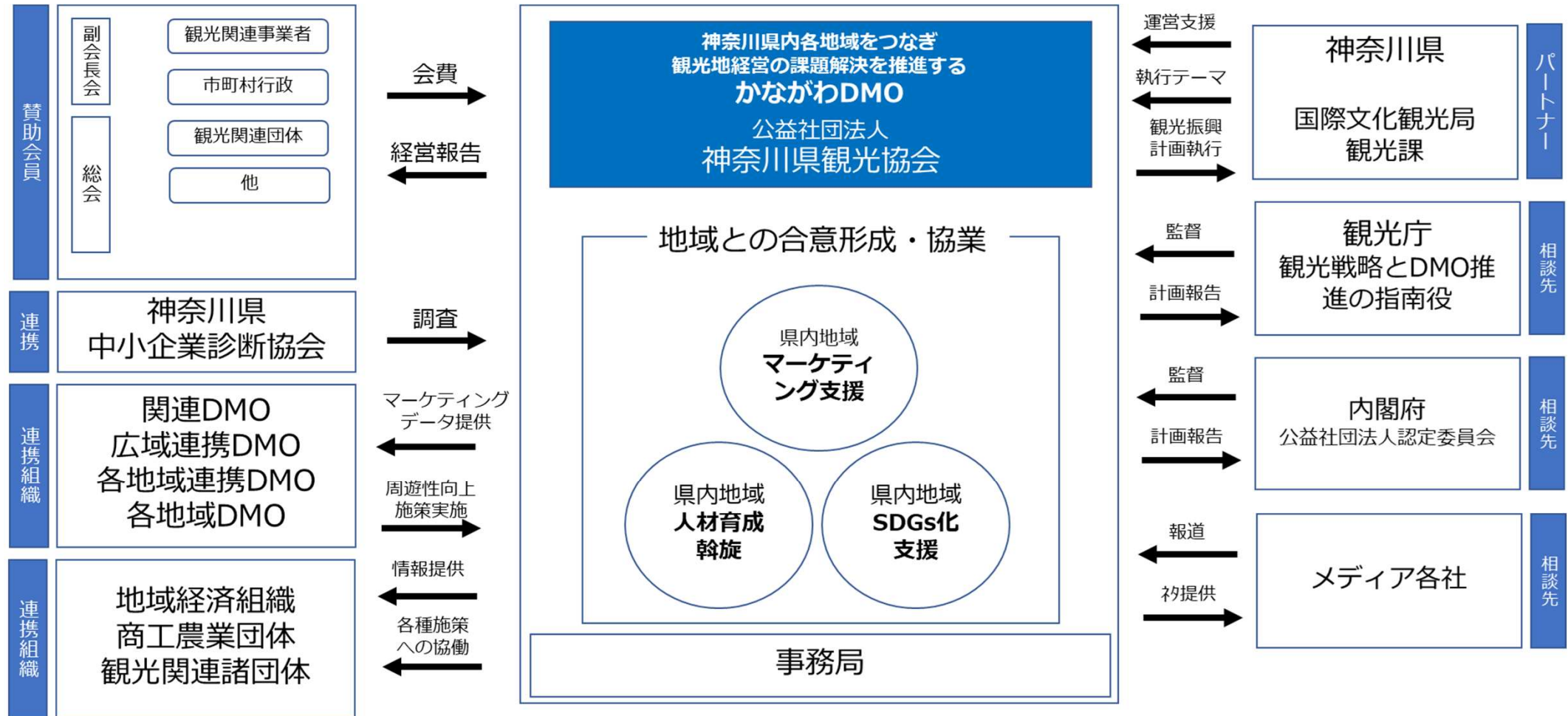
国内外の観光需要の急速な回復に伴い、一部の地域・時間帯では混雑やマナーに関する迷惑行為による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度低下への懸念が生じています。
今般、鎌倉市・藤沢市エリアにおけるオーバーツーリズム未然防止・抑制に向けた施策・取組等を検討・実施するため、関係機関による協議会を設置し、以下のとおり第1回協議会を開催します。

記

1. 日 時 令和5年11月6日(月) 15:00~
2. 場 所 藤沢市役所 8階 会議室(対面形式)
(神奈川県藤沢市朝日町1番地の1)
3. 議 事 ・国からの情報提供
(予 定) ・地域の現状等報告
・意見交換
・今後の取組に関する検討
4. 構 成 員 別添「構成員名簿」のとおり
5. 取 材 申 込 撮影につきましては、冒頭(開会挨拶)まで可、それ以降の傍聴は不可とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、協議会終了後、17:10頃から記者ブリーフィングを行う予定です。
取材を希望される場合は、11月2日(木) 15:00までに、以下の【取材申込先】までご連絡願います。

10. 今後のDMOの体制

■幅広いステークホルダとの連携により戦略を推進して行く



11. 今後の安定財源の確保

【収益事業】

神奈川県アンテナショップ「かながわ屋」

- アンテナショップ「かながわ屋」（そごう横浜店内、県の委託事業）
- 神奈川県内の特産品の販売をベースに、イベントを通じて販売増を図る

アンテナショップ「かながわ屋」物産販売収入の推移

令和5年度（見込み）	令和4年度	令和3年度
139百万	143百万	127百万



箱根林間駐車場

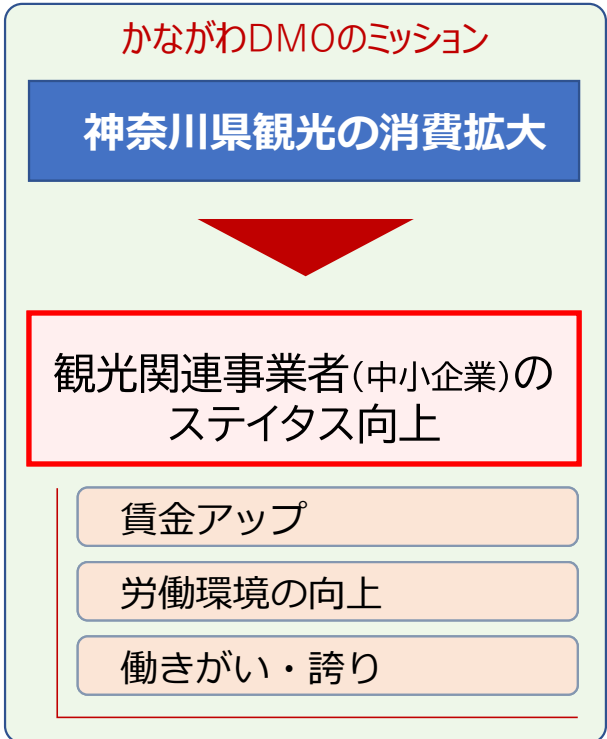
- 箱根町や箱根DMOとも連携した「箱根パーク&ロープウェイ」などの地域の渋滞対策にも寄与
- 既存の駐車ニーズ以外の掘り起こしにより、戦略的に収益増につなげる

その他財源

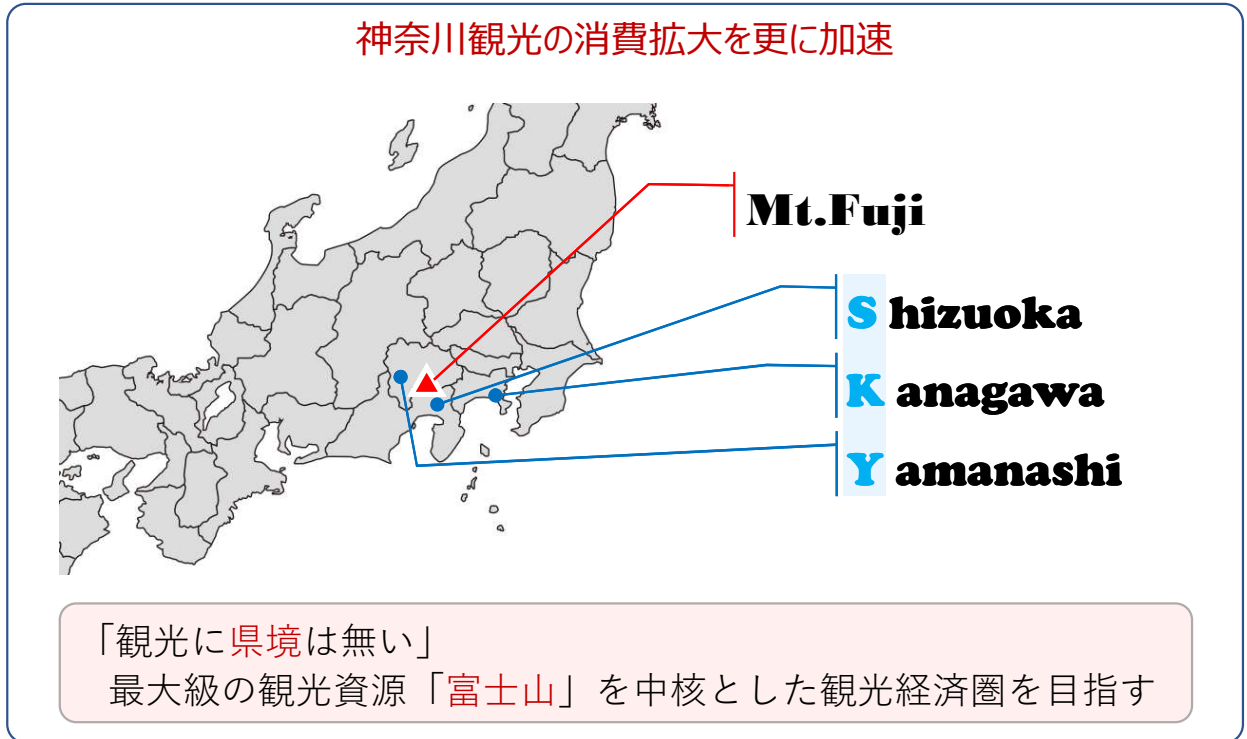
- 「寄附金制度」が承認され、かながわDMOの活動成果を踏まえた寄付金を募ることが可能になった
- その他、クラウドファンディングの検討など自主事業だけでなく多様な収益源を確保することを目指す

12. かながわDMOが目指す姿

現在



5年後



令和5年度「かながわDMO」活動費用について

(参考資料)

令和5年度からかながわDMOは地域連携DMOとして活動をしております。
使用経費は、理事の皆さまにも都度ご確認をいただきながら、進めさせていただきます。

(1) かながわDMO データ分析等運営経費

- ・データ分析・マーケティング等アドバイザー経費【2023年4月から2024年3月まで】
@250千円×延べ3名(4月から1名/12か月、7月から2名/9か月)
合計 7,500千円(業務委託費・予備費で予算計上済み)
- ・ディスカッション(月2回)の会議費【2023年4月から2023年11月2日まで】
年度当初から 12回 会議費 24,880円

(2) 新しい事業への投資

伊勢原ファムトリップの実施【2023年11月6日実施】

旅行会社6名、メディア2名、国際会議関係5名 合計21名

参加料：70,000円

実施経費：176,000円(※地元の多大なご協力で最低金額)

差引：106,000円(支払使用料)

(1) + (2) = 7,630,880円(自主財源での負担)

[参考]

かながわデジタルスタンプラリー【2023年8月】
県内の広域周遊に関する取組として、デジタルでのスタンプラリーを実施しました。

経費：1,520千円(県外誘客事業費)
(システム整備 1,261千円)

皆様と一緒に神奈川の観光を盛り上げていきます！

ご清聴ありがとうございました。